

2024年4月25日

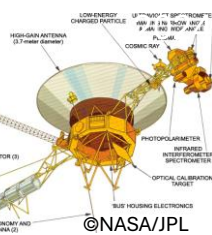
YACかわらばん 461

SLIMとボイジャー1号

ボイジャー1号は1977年に打上げられ、現時点で地球から最も遠い約240億kmにいるアメリカの宇宙探査機です。打上は46年前です。① *最新情報が確認できます。

昨年11月から故障し解読不能なデータを地球に送信し続けていたボイジャー1号は、4月22日に解読可能なデータを送信してきたとNASAが発表しました。

地球からの信号がボイジャー1号に届くまでには約22.5時間、ボイジャー1号から地球に反応が戻ってくるまでにさらに22.5時間を要します。そのような中で故障の原因を探り、故障を解決するための指示を送信し、データの送信が成功するとはすごいものですね。貴重なデータが利用できます。



©NASA/JPL

この作業に深くかかわった方々の写真が公開されています。②

	ボイジャー1号	ボイジャー2号
経過時間	46YRS	46YRS
	07MOS	08MOS
	18DAYS	03DAYS
	19HRS	17HRS
	12MINS	39MINS
14SECS	14SECS	
地球からの距離	15,124,812,398 mi	12,659,058,004 mi

<https://voyager.jpl.nasa.gov/mi-ssion/status/>



©NASA/JPL

<https://www.jpl.nasa.gov/news/nasas-voyager-1-resumes-sending-engineering-updates-to-earth>

ところで日本のSLIMは3回目の越夜に成功したとJAXAが発表しました。2回目の「越夜」成功時の関係者の写真と、今回のボイジャー1号通信再開時の写真を比較すると興味深いです。②③

- ・打上から46年という年輪を示す②
- ・達成感に満ちた②③ *今回のSLIM関係者の写真がみたいです



小型月着陸実証機SLIM

@SLIM_JAXA

2024年3月30日

YACかわら版 453

2度目の越夜

4月23日夜、休眠していたSLIMが、-170°のきびしい3度目の「月の夜」を超える「越夜」成功したとJAXAが発表しました。着陸から3ヵ月以上活動を継続しています。すごいですね。

3月28日 昨夜、#SLIMから返事が届き 査機が2度目の月の夜を突破したことを確認しました。太陽はまだ高く、機材はまだ暑かったので、ナビゲーションカメラでいつもの風景を何枚か撮っただけです



③

(前略) SLIMが3回目の越夜を達成したことを確認しました。早速航法カメラにて撮影した昨夜の月面の様子がこちらです。越夜後としてはこれまでで最も早い月齢での撮影のため、全体的に明るく影が非常に短くなっています。

すごいですね。この映像の雰囲気がいいですね。SLIM運用の中心的な役割を果たしている方々です。

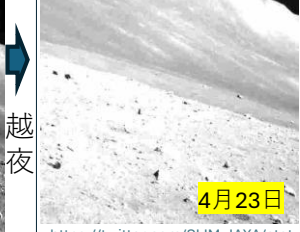
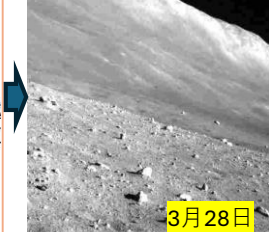
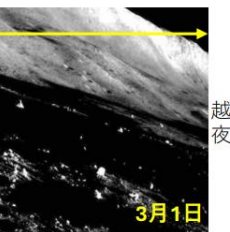
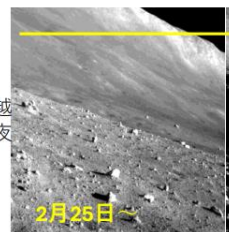
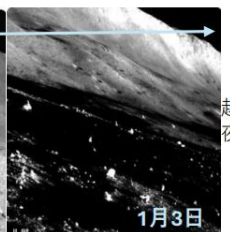
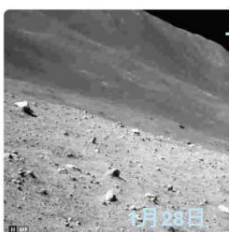
<https://store.hacoosco.com/movies/e216a5df-3cde-44b7-bc4b-c6d1b35a7437/content>

YACかわら版 444

SLIM/Nova-C

「2024年1月20日午前0:20(日本標準時)に小型月着陸実証機(SLIM)が月面へ着陸したことを確認致しました。着陸後の通信は確立しております。」という、JAXAのプレス

変形型月面ロボットによるSLIMの撮影およびデータ送信に成功



カメラは固定されているようですが何か写りこむことを期待しましょう

https://twitter.com/SLIM_JAXA/status/1773190431758508138/photo/1

https://twitter.com/SLIM_JAXA/status/1782956426752848056